

平成 24 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	法政理論、比較国際法政、 公共法政、司法政策、 地域公共政策コース
専門科目	民法

【第1問】Aは、Bによって、「拒むと家族に危害を加える」旨を告げられた結果、Bから紹介されたCとの間で、5000万円の消費貸借契約（本件消費貸借契約とする）を締結した。本件消費貸借契約の締結に際しては、Bも同席し、貸主であるCからの金銭の交付は、借主であるAの指示で、第三者Dの預金口座への振り込みによるべきこととされた。本件消費貸借契約に基づいて、Cは、Dの預金口座に5000万円を振り込んだ。ABC Dの法律関係を論じなさい。

【第2問】Eは、Fに対して、1000万円の金銭債権（甲債権とする）を有しており、Fは、Gに対して、1000万円の金銭債権（乙債権とする）を有している。乙債権は、Fの唯一の積極財産であり、Fが、乙債権を行使していない場合、Eが、甲債権の満足を受ける方策を二つ以上あげて、それぞれについて、説明しなさい。